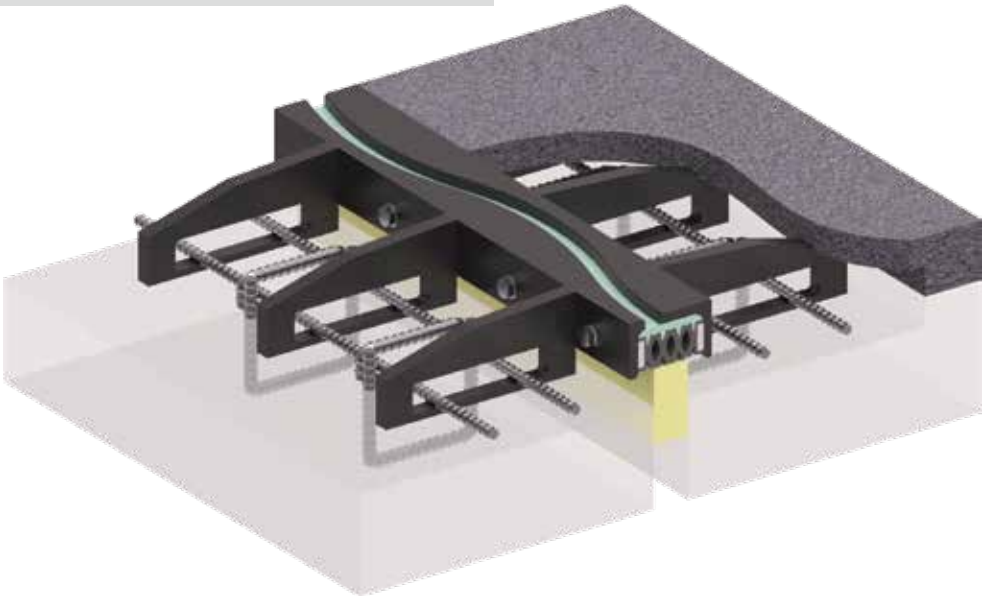
橋梁用伸縮装置　NETIS 登録番号　KT-230293

ブロフジョイントCDx-HW型

はじめに

橋梁用伸縮装置として、ブロフジョイントは昭和37年に最初のモデルが発売されて以来、常に一貫として「伸縮継目部にも車輪圧に対する支圧強度をもたせ、道路面の一部として機能させる」という基本理念のもと設計、製作、施工され、各種橋梁、長大橋、斜橋などに使用されております。今回、鋼製伸縮装置であるブロフジョイントCDs型（耐グレーダー用）の改良版として、よりグレードアップしたブロフジョイントCDx-HW型（北海道仕様）を開発いたしました。

ブロフジョイントCDx-HW型の基本構造



ブロフジョイントCDx-HW型は、50年供用に相当する疲労耐久性能試験と止水性能試験を実施しています

※NETIS登録番号 KT-230293 橋梁用伸縮装置ブロフジョイント用接着剤

特　長

1. 走行性
フェイスプレートの遊間を波形構造にすることによって、車両走行がスムーズになり、通過時の騒音を低減できます。

2. 耐久性
走行面が鋼製でシンプルな構造のため、耐久性に優れています。

3. 止水性
ボルト固定されたゴムパッキンにより、止水性に優れています。

4. 施工性
簡単な構造でフィンガージョイントと比較して軽量なので施工性に優れています。

5. 積雪地対策
誘導板を設置しており、除雪車の走行がスムーズに行えます。

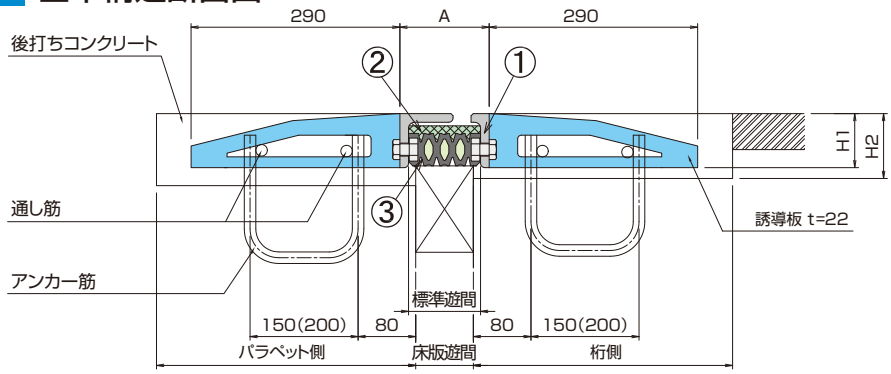
東京ファブリック工業

橋梁用伸縮装置

ブロフジョイントCDx-HW型

NETIS 登録番号 KT-230293

基本構造断面図



※( )内は80用、100用を示す。

標準寸法表

単位：mm

規格	有効伸縮量	標準遊間	A	H1	H2	重量(kg/1.8m)
CDx−HW20用	20	62	76～96	75	90	81
CDx−HW30用	30	77	86～116	75	90	84
CDx−HW40用	40	100	104～144	75	90	89
CDx−HW50用	50	109	110～160	90	100	113
CDx−HW60用	60	132	132～192	130	140	168
CDx−HW80用	80	176	174～254	150	160	222
CDx−HW100用	100	186	186～286	150	160	258

標準仕様

番号	名称	材質
①	保持金物	SS400
②	弾性シール材	STシールB
③	ゴムパッキン	CR+SS400

弾性シール材の物理的性質

項目	単位	規格値	試験値	試験方法
比重	-	1.1±0.2	1.1	JIS K 6251 準拠
硬度	度	8±5	5	SRIS 0101-1968 準拠
最大引張応力	kN/㎡	80以上	274	JIS A 5758 準拠
破断時伸び	%	600以上	865	JIS A 5758 準拠
50%圧縮強さ	kN/㎡	70±50	46	JIS K 6767 準拠

ゴムパッキンの物理的性質

項目		単位	規格値	試験値	試験方法
引張強さ		N/㎟	15以上	19.9	引張試験 JIS K 6251
伸び		%	300以上	530	引張試験 JIS K 6251
硬さ		-	A55±10	A58	硬さ試験 JIS K 6253
引裂強さ		N/㎜	30以上	60.5	引裂試験 JIS K 6252
老化試験	引張強さ変化率	%	20以下	−3	空気加熱老化試験 JIS K 6257 (70℃×96hr)
	伸び変化率	%	20以下	−11	
	硬さ変化	-	10以下	2	
圧縮永久ひずみ		%	25以下	10	圧縮永久ひずみ試験 JIS K 6262 (70℃×24hr)

NEXCO構造物施工管理要領規格(H22)

ブロフジョイントに使用する鋼材は、
JIS 規格品を採用しております。

当社は伸縮装置施工も請け負います。お問合わせください。

東京ファブリック工業

支店

札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島

お問い合わせ先

本店 〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
URL：https://www.tokyo-fabric.co.jp/

本カタログの仕様は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。 掲載の記事･写真･イラスト等を無断で複写したり他に転載する事をお断りします。

2024.5.1